

普段感じていること・考えたこと
「わたし」の言葉で伝え合おう

小名浜に
住んでいる 働いている 週末遊びに来る…
どんな関わり方でもOK!

トークシェアミーティング

小名浜地区の未来を「わたし」目線で考える

「わたし」らしく暮らし続けるための 小名浜へ!

一回・日程違いのトークテーマは同じ!
好きな回だけを選んで参加OK!

第1回
「わたし」が
小名浜で
やりたいこと

【開催済】
11/8(金)・9(土)

第2回
やりたいことを
やる時に
よかったこと・
困ったこと

【開催済】
1/31(金)・2/1(土)

第3回
よかったとき
・困ったとき
誰と関わると
良いか

【開催済】
11/8(金)・9(土)

第4回
どこでならより
「わたし」らしく
やりたいことを
やれるか

【開催済】
1/31(金)・2/1(土)

会場

① いわき・ら・ら・ミュウ 2階 研修室A (いわき市小名浜字張巴町43-1)
② イオンモールいわき小名浜 4階 イオンホールA (いわき市小名浜字張巴町70)
③ 小名浜公民館 2階 会議室 (いわき市小名浜愛宕上7-2)

参加方法

右下のQRコードから事前申込
※各日程の7日前までにお申し込みください

定員

各日程30名程度
※先着順

対象

小名浜に関わりがある・関わりたい
小学生以上の方

参加費

無料

「わたし」と「わたし」が重なり合うまちへ

やりたいことを「やってみたい」と言葉にする。
ただ、それだけのことなのに、とても難しい。
笑われたらどうしよう? 否定されたら? 馬鹿にされたら?
悩つくくらいなら、伝えなくてもいいか。
そう、思ってしまう。

でも、もしも。
お互いの言葉を、ただまっすぐに聴き合える。
一緒にやろうよ、考えようよ、と言ってくれる。
そんなフラットな場があったなら。
小名浜は、もっと住み続けたい、もっと関わり続けたい、そんなまちになれるはずだ。

きっと、「わたし」の「やってみたい」は
別の「わたし」の「やってみたい」とどこかで重なり、
その先で、「わたし」がもっと自分らしく暮らせるまちをかなづけていくと思う。

トークシェアミーティングは、そんな可能性に満ちた場所。
一人ひとりの「わたし」には、何の興奮もなくても、
言葉には、想いには、行動には、今を変える確かな力がある。

その最初の一步を、小名浜から、一緒に踏み出してませんか?

いわき・ら・ら・ミュウ
2階 研修室A

開催日

第2回～第4回 ①10:20～12:50

研修室

いわき・ら・ら・ミュウ中央又は西口農家の
館内中央エレベーター又はエスカレーターから
2階へお越しください。

②F

いわき市小名浜字張巴町43-1

イオンモールいわき小名浜
4階 イオンホールA

開催日

第2回～第4回 ②18:20～20:50

イオンホール

イオンモールいわき小名浜駐車場Cゾーン
7階「イーストコートエスカレーター入口」、
8階「イーストコートエレベーター入口」から
4階までお越しください。

④F

いわき市小名浜字張巴町70

小名浜公民館
2階 会議室

開催日

第2回～第4回
③9:30～12:00

会議室

入口を入って左手側の階段又は
左手のエレベーターをご利用ください。

いわき市小名浜愛宕上7-2

【お問い合わせ】
いわき市 財政部 施設マネジメント課
総合政策部 政策企画課
電話 0246-22-7408 電子メール shisetsu-management@city.iwaki.lg.jp

トークシェア
ミーティングの
参加申込はこちら

QRコード



テーマ 「わたし」が よかったこと・困ったこと をやる時に

「トークシェアミーティング」は、立場や身分に関わりなく、フラットに互いの声を聴き合うことで、一人ひとりの「わたし」を起点に、まちのこと、暮らしのこと、施設のことを共に考え・実現を目指す、という意欲的な試みです。

第1回は、この試みを安心して本音を伝え合える場として捉えていただくことを主眼とした、事実上の「第ゼロ回」でしたが、その対話の中で見出したアイデアや想いについては、個人で実現を目指す、関係者と情報を共有する、既存の取組みとのマッチングを模索するなど、「行政が聴いて終わり」ではない動きが始まっています。一人ひとり「わたし」の言葉と真摯に向き合う、こうした柔軟かつ臨機応変な対応は、「あらかじめ対話のゴールを設定していない」からこそできる、「トークシェアミーティング」ならではの強みだと感じます。

そして、第2回からはいよいよ、このまちに何が本当に必要なかを考えていくターン。とはいえ、「トークシェアミーティング」は、「まちをどうすべきか」「施設をどうすべきか」といった大上段から何かを検討したり決めたりする場ではありません。大切にしたいのは、皆さん一人ひとりの経験や考えであり、その時々何をどう感じたのかということです。

第2回では、これまでの小名浜との関わりとそれに紐づく想いなどをシェアし合うことを起点に、なぜよかったのか・なぜ困ったのかを丁寧に掘り下げていくことで、「わたし」らしくこのまちで暮らし続けるために、あるいは関わろうとするときに、本当に必要な「しくみ」や「フォロー」や「場」とはどういったものか、少しずつ浮き彫りになってきました。

第3回では、第2回で見出したキーワードなどを基にして、さらに具体的な対話を深めていきますので、第1回・第2回に御参加くださった方はもちろんのこと、はじめましての方も、気軽な気持ちで「トークシェア」しに来てくださいね!

ファシリテーター
東京都立大学
讃岐 亮 先生

7・8ページには
参加者それぞれが
必要だと思う
しくみ・フォロー・場を掲載

トークシェアミーティングの
詳細や参加申込は
いわき市
ホームページから!

QRコード

2025年3月14日(金)
・15日(土)開催

第2回
レポート

次回の
トークシェア
ミーティング

トークテーマ「よかったとき・困ったとき 誰と関わると良いか」

第1回・第2回にシェアされた言葉たちをベースに、「わたし」らしく小名浜で暮らすために・小名浜に関わるために、本当に必要な「しくみ」や「フォロー」や「場」を、どんな人・団体・企業などとつなげると実現できそうか、一緒に考えます。「トークシェアミーティング」に難しい説明や作業はありません。ご家族やお友達、同僚・知人の方と一緒に、「わたし」一人ひとりの想いをシェアしに来てみませんか?

トークシェアミーティングを
通じて見つけた仲間と一緒に実現

様々な政策へ
反映

民間活力を
活用

公共施設等の
あり方に反映

出口は
1つではありません

固定観念を超えて
目指す姿を
対話する中で
共に
見出していきます

トークシェアミーティングは 一人ひとりの「わたし」の 経験や考えについて聴き合うことを起点に まちの未来をかたちづくっていく試みです

何かを決める段階ではなく
何を考えなくてはならないかを見出す段階で
「わたし」がやりたいことベースの
声を聴き合います



「よくある」説明会
ではありません

市が案を提示して意見をお聴きする
スタイルではなく、ゼロベースで声
を聴き合いたいと考えています。



「何かを決める場」
ではありません

白か黒か、あちらかこちらかなどの
何かしらの結論をトークシェアミ
ーティングの中で出すことはありません。



「何かを強制する場」
ではありません

市職員も「市職員という職業である
一市民」の立場で参加しています。

トークシェアミーティングの ルール

話したいときに
話したいことを
話す

言葉にしたいことは、人によっ
てさまざま。発言は強制される
ものではありません。話したく
なったら、話せば良いのです。

耳を澄ませて
互いの話を
聴き合う

「わたし」の言葉と同じだけの
重さが相手の言葉にもあります。
誰か1人がずっと話し続けるの
ではなく、聴き合ひましょう。

決めつけない

先入観や印象で、相手を「こう
だ」と決めつけるのではなく、
まずは、「なぜそう思うの？」
と理由を訊ねてみましょう。

同意を
求めない

同意を求めることは、時に相手
の想いや考えを押さえつけてし
まうことも。ここは何かを決め
る場ではないので控えましょう。

説教しない

特に大人の皆さん。知識や経験
から「そうじゃない」と言いが
ちですが、この場ではまっすぐ
受け止めるのが「大人」です。

質問攻めに
しない

なんとなく思ったことをしつこ
く追及されても困ってしまうか
も。質問は、相手を不快にさせ
ない程度に、ほどほどに。

トークシェアミーティングに参加される皆さんの多くは、「はじめまして」同士です。
否定されるかもしれないと思うと、口が重くなってしまう。誰かの前で話すこと自体、緊張してしまう。おしゃべりが
好きで、初対面の人も楽しく話せる。ーきっと、いろんな方が参加しています。
そんなトークシェアミーティングが、「わたし」が安心して声を伝え合える場であり続けるために、参加する全員で共
有したいルールがあります。

トークシェアミーティングQ&A

Q.同じ日程に学生さんや子育て世代の方がもう少し参加していたらよかったです。

様々な年代・背景をお持ちの方に少しでも多く参加いただけるよう、各回、平日昼・平日夜・週末昼の3日程開催しています。結果、それぞれの方が参加しやすい曜日や時間帯に偏りがあるのが現状です。子育て世代の方は日中の参加が比較的多い印象です。

若者や子育て世代の方にもより広く参加いただけるよう、SNSなども活用しながら引き続き周知していきます。

Q.考えを貼り出す紙に共感のシールを貼るときに、市職員らしい方がシールすべてにある意見に貼っていたことに違和感を感じました。市で実現しやすい案にシールを貼って、市民が望んでいるから実現した、と演出したいように感じました。

共感シールを上限以上に貼った方がいたとのことで、単純に進行説明が行き届かなかったものと思われます。

トークシェアミーティングは、あくまでも、立場や肩書によらず、ゴールありきではなく、それぞれの経験や考えに基づく言葉を交わし合うことをベースとしています。市職員もそうした職業の一個人として参加しています。市が、トークシェアミーティングの場で、「実現しやすいアイデアだからアリバイづくりのようにこれを推す」といったことは、一切ありません。

同じような共感の示し方をすると、不信感を生まないよう、当日の進行でより丁寧に手順を説明します。

Q.円卓に書き込めること、みんなで支えるというシステムはびっくりしたが、みんなで作上げる雰囲気が出てきて素敵だなと思った。

トークシェアミーティングで、膝の上に敷いて使う円形の模造紙と段ボール製天板のセットは、傾くと書きづらいため、初対面でも相手を気遣い合いながら対話に取り組める雰囲気づくりにつながっています。

Q.第1回よりも、進め方などについて理解も進み、参加者の皆さんの情報や意見に共感を得られる場面が多かったように感じた。

第2回では、おおまかな対話の手順をできるだけ第1回のやり方に近づけることで、前回も参加された方が対話に入りやすくなるよう工夫しました。

結果、前回に引き続き参加された方が、各グループ内で話しやすい雰囲気を作ってくれたことで、第2回から初めて参加した方も言葉や共感を表しやすい場となったように思います。

Q.小名浜に住んでいる同士などだと、共通の課題認識を持ちやすく、課題認識が揃っていると、対話を深めやすかったです。

第1回・第2回は、対話に慣れること、様々な価値観に出会うことも考慮した内容や進め方としてきましたが、次回以降では、共通の課題認識などをしながらより深く声を聞き合えるよう、参加者の皆さんそれぞれの興味・関心に沿って、グループ編成のしかたから工夫したいと考えています。

Q.第2回のテーマは、やりたいことをする(した)ことでよかった・困ったことだったので、具現化するための改善ポイントが絞られてきたと感じました。

トークシェアミーティングは、回を重ねるごとに対話が深まっていくように、各回のテーマを設定しています。

第2回は、参加者の皆さんそれぞれが小名浜で「やりたいこと」や「こうありたいと思う姿」をシェアし合った第1回から一歩進んで、まさに必要な「しくみ」や「フォロー」や「場」の可能性を見出すきっかけとなりました。

次回以降は、第2回で見てきた視点についてさらに掘り下げられるような内容にしていきたいと考えていますので、今回に引き続き、ご参加をお待ちしています！

Q.日々の暮らしの中にある不満や不安、あるいはその解決策を、誰かどユルく漠然と共有できる場があって、それを行政の中の人が聞いている、というのは悪くないんじゃないでしょうか。トークシェアミーティングの「成果」を期待するよりも、いろいろなところで継続して定期的にやる方が大事だと思います。

トークシェアミーティングはまさしく、皆さんが日常の暮らしの中で感じていること、経験したことを聞き合うための取組みです。そうした言葉の中にこそ、まちをアップデートしていくためのヒントがあると考えています。

この取組みを始めたきっかけの1つが公共施設等の老朽化にあることから、特にその進行が顕著な小名浜地区でトークシェアミーティングを始めました。まずは、小名浜地区で第4回まで対話を重ねてみた上で、今後の具体的な展開のしかたや、他地区への波及可能性などについても検証します。

Q.考えを貼り出す紙は無記名のため、本人と話してみたいと思ってもできない。シールは誰の為のものでしょうか？個人が出会うことも、と言っているのに阻害されているように感じました。

トークシェアミーティングでは、参加いただくハードルを少しでも低くすることを第一に考えています。対面して言葉を交わし合うからこそ生まれる新たな考え方もある一方、匿名だからこそ素直に考えを表すことができる場合もあるのではないのでしょうか。

加えて、「○○さんの意見」というのが目に見えると、共感を示す際に引きずられたり、忖度が生じたりする可能性があります。敢えて無記名とすることは、可能な限りフラットに考えを示し合うための工夫として大切にしている部分ですので、御理解ください。

一方、共感シールは、「わたし」の意見が、「わたしたち」という、より広く必要とされるアイデアである可能性を見出しやすくするためにやっているものです。もちろん、シールの数は意見の優劣とイコールではなく、仮に共感が多くなかったとしても、それはその方にしか見つけれなかった貴重な視点であると捉えています。

アイデアの実現も視野とするフェーズは、第3回、第4回がメインとなります。次回以降では、「仲間を見つける」ことにもつながるような工夫を、盛り込んでいきたいと考えています。

第2回のトークシェアの様子



「わたし」が小名浜でやりたいことやこうありたいと思う姿を起点によかった・困った経験などをシェア



「わたし」が小名浜に必要だと思うしくみ・フォロー・場などを1つ選んで書き出します

自らの経験や考えをシェアすることでどんな機能や場がこのまちには必要なのか第1回よりも具体的に became possible



よかった・困ったのはなぜ？...と深堀りすることで まちに必要なくしみ・フォロー・場の可能性を模索



グループを移動して新たな視点や考え方に会います



元のグループに戻って共有します「わたし」の考えも変化したり進化したりしているかもしれません

参加者の約7割が第1回に引き続いての参加年代も性別も背景もごちゃ混ぜな対話の場に慣れてきて 初参加でも話しやすい雰囲気に



「わたし」もそう思う！という共感を示し合い 次回のトークや具現化のきっかけにしています

トークシェアミーティングの流れ

第1回 2024年 11/8(金) 11/9(土)
「わたし」が小名浜でやりたいこと

「トークシェアミーティング」が安心して本音を言える場であることを体験 & 「顔見知りの関係」に

第2回 2025年 1/31(金) 2/1(土)
やりたいことをやる時によかったこと・困ったこと

小名浜でやりたいことやこうありたいと思う姿を実現するために本当に必要なしくみ フォロー 場などを洗い出す

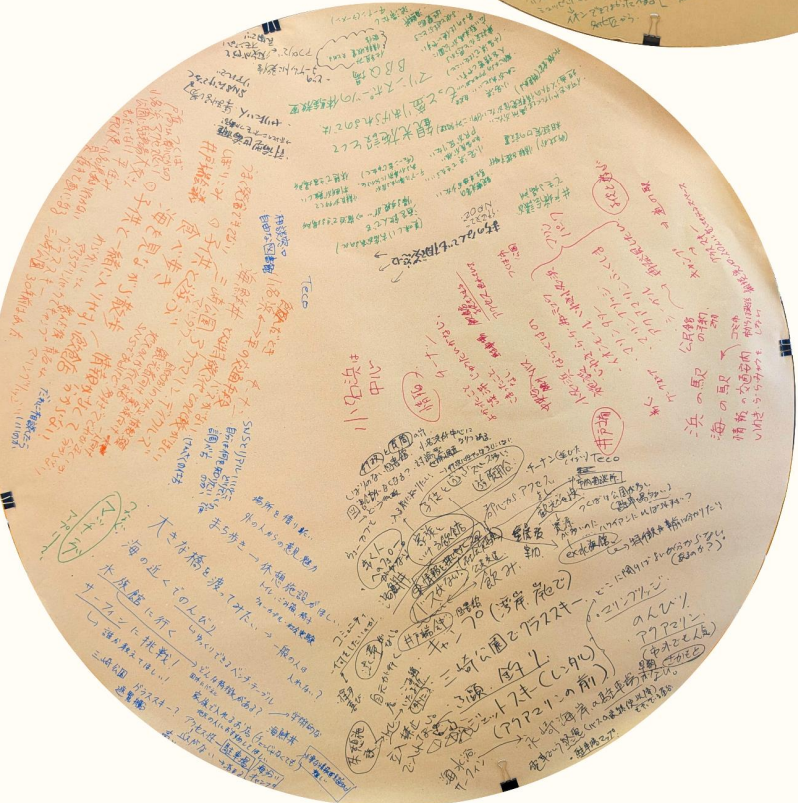
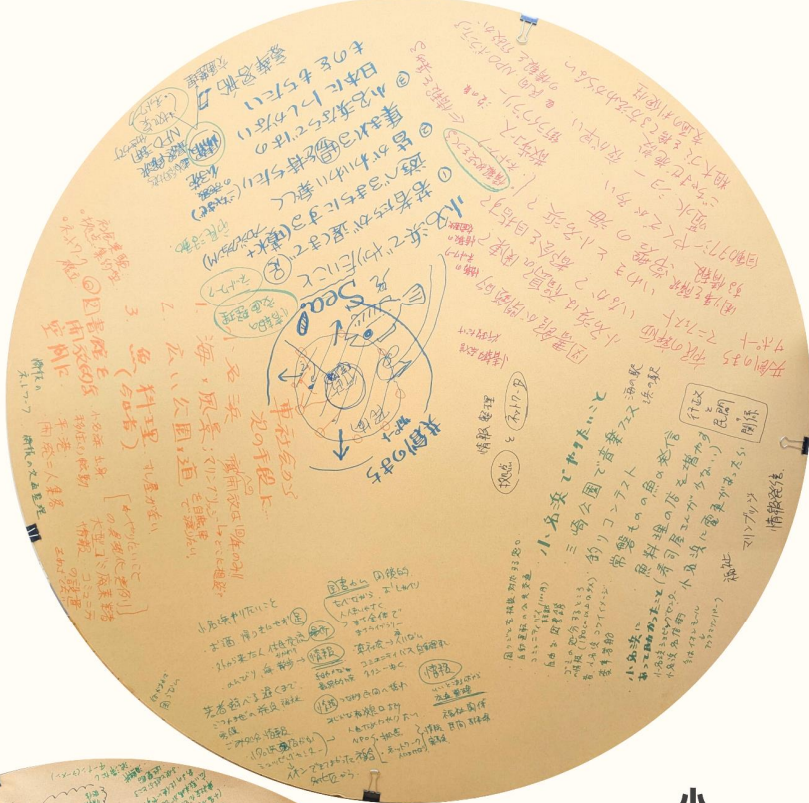
第3回 2025年 3/14(金) 3/15(土)
よかったとき・困ったとき誰と関わると良いか

第2回で洗い出した小名浜に本当に必要と思われるしくみ フォロー などについて関心のある分野を選び対話を通じて具体化

第4回 2025年 5/16(金) 5/17(土)
どこでならより「わたし」らしくやりたいことをやれるか

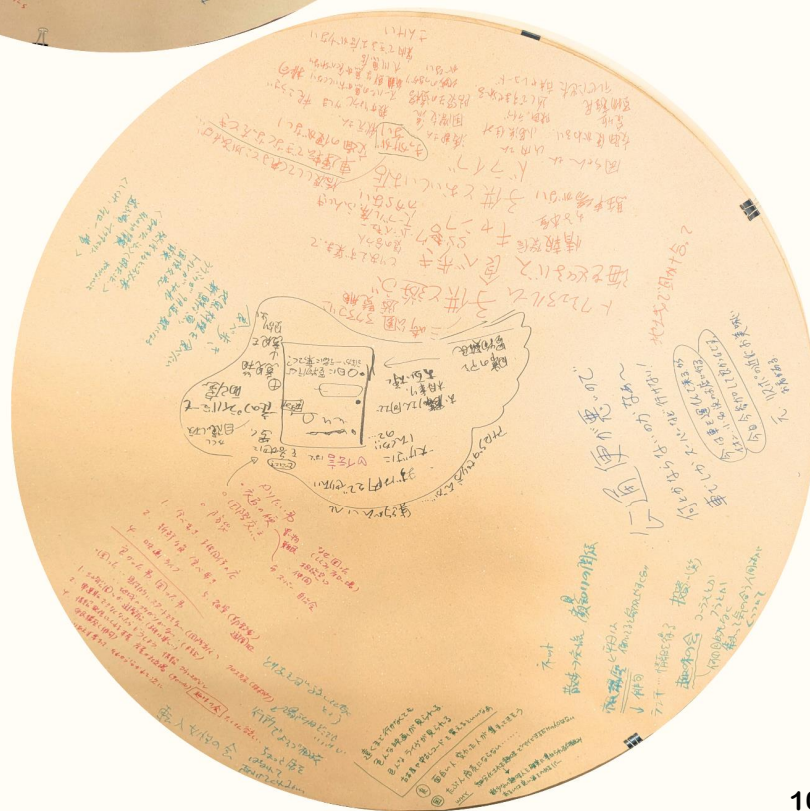
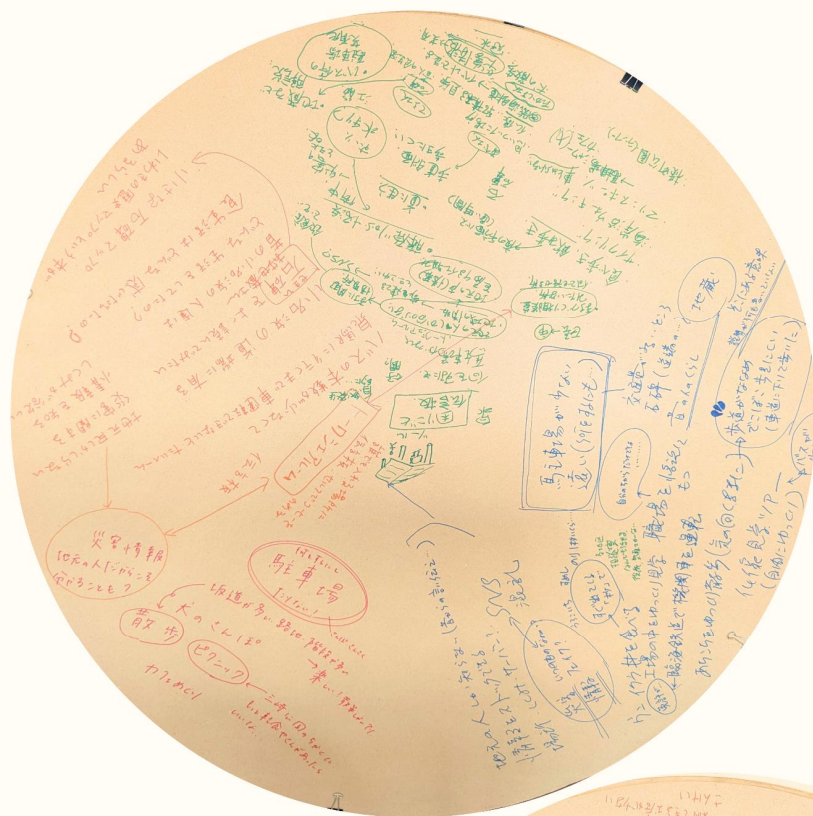
第3回で深めた小名浜に本当に必要と思われる具体的なしくみ フォロー などの受け皿としてどんな場が必要か対話を通じて具体化

→ 第3回へ... (3/14・3/15)



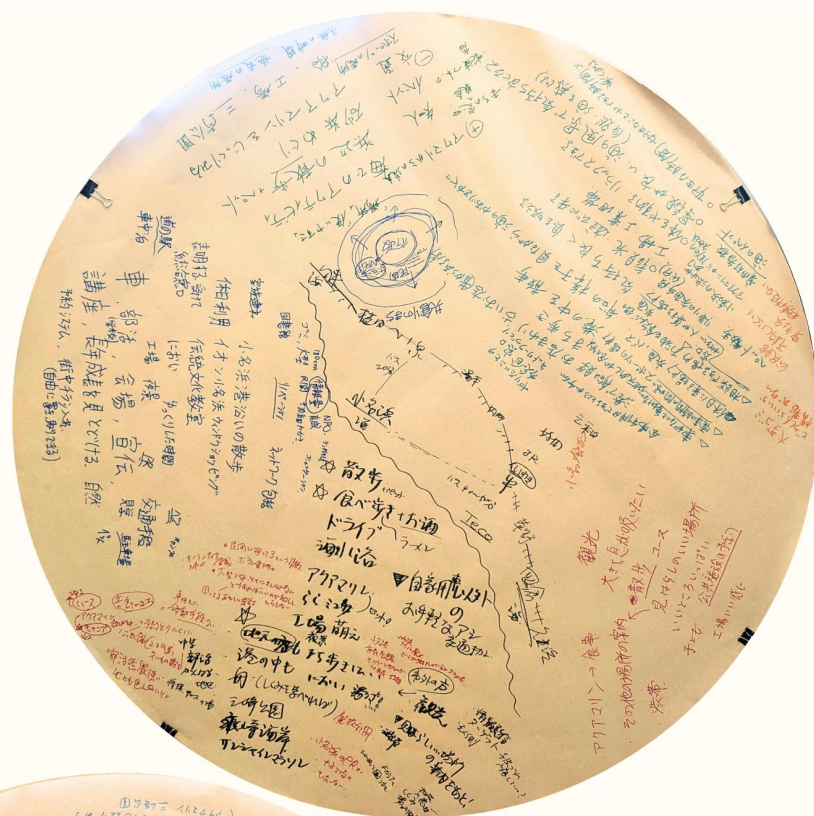
小名浜のまちに住んでいてあるいは関わるべきの「わたし」一人ひとりの想いや経験をベースにして「よかった」「困った」をグループ内でシェア

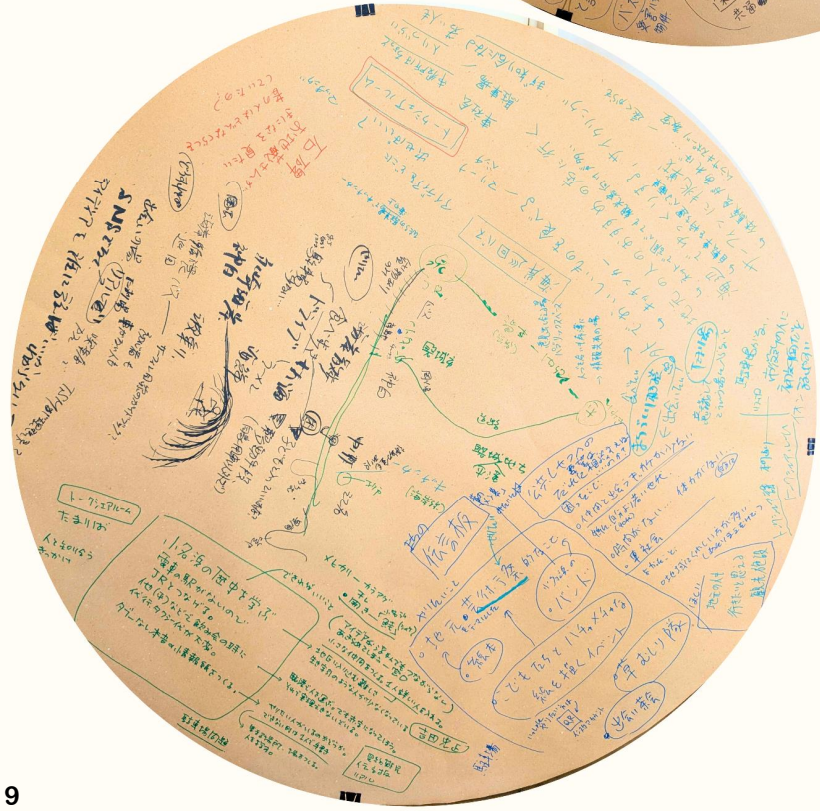
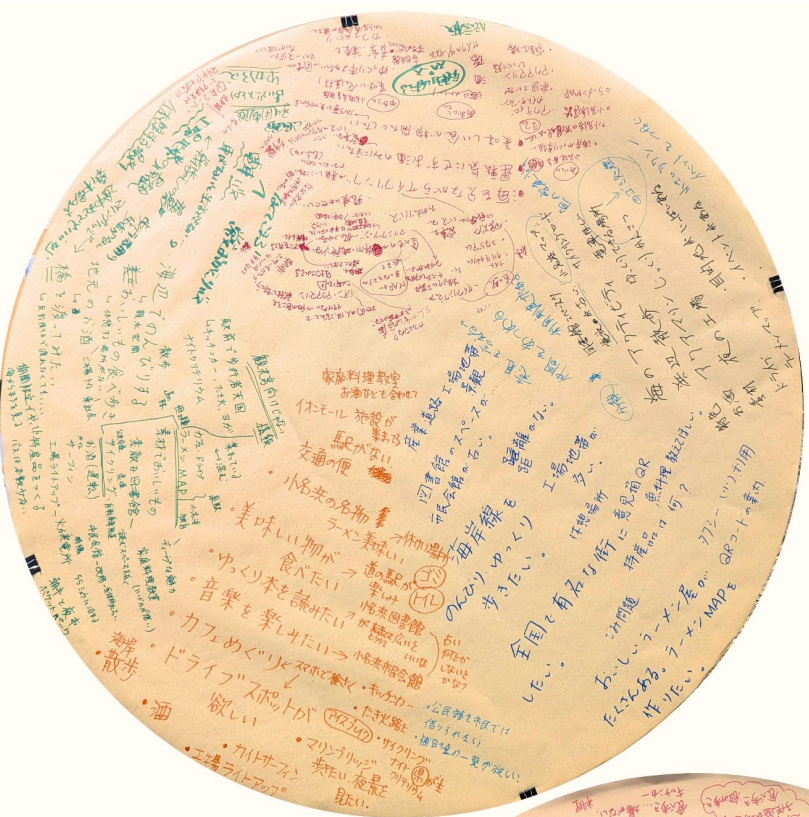




小名浜にはこんな
しくみ・フォロー・場が必要なのは？
その輪郭が少しずつ浮き彫りになってきた

好きな色のペンで
互いの言葉と文字をつなぎ合ったり
たまには絵や図を描き込んでみたり





「よかった」のはなぜ? 「困った」のはなぜ?
 小名浜でやりたいことをやるためには
 ありたい姿を実現するためには何が必要?

言葉を交わす度
 「わたし」の想いや経験が
 「わたしたち」の重なりとして見えてくる

